

「20～40代の区民との語る会」

日時：2月20日（金） 午後7時から（実施形態：オンライン）

◇外国人観光客への対応について

質問	回答	対応
<p>お店の経営者も海外の観光客も増え、 税収面では豊かになったと思います。一 方でルールが守られないなど、治安の悪 さも見えてきています。</p> <p>異文化の方々とうまく交流できる台東 区にするために、何を進めていくつもり か伺いたいです。</p> <p style="text-align: right;">（40代 男性）</p>	<p>区では、区民と観光客の両者が快適に過 ぎることができる持続可能な観光地の実現を 目指すため、様々な取り組みを行っています。 主な取り組みとしては、観光マナーを正しく ご理解いただけるよう、多言語によるイラス ト付きの「観光マナー啓発リーフレット」を 作成して、イベント等で観光客に配布してい ます。</p> <p>また、区内の公衆喫煙所および公衆トイレ の位置等を一元化した「トイレ・公衆喫煙所 マップ」が WEB ページ上でご覧いただけま す。そして、このマップを紹介するカードや 卓上スタンドを、区内の商店街や観光客が滞 在するホテル・旅館・民泊施設にも配布して 活用いただくことで、広く周知を図っていま す。</p> <p>さらに、ボランティアを募り、観光客との コミュニケーションを通じてマナーを啓発 するイベントを開催したり、外国人観光客の 方にも日本の文化体験を楽しみながら、まち のごみ拾いをしていただく活動を実施した りするなど、啓発を推進しています。</p> <p>今後も本区に訪れる観光客に対し、区民の 皆様にも気持ち良く受け入れていただける 環境づくりに取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇孤独・孤立対策について

質問	回答	対応
<p>国政でも孤独・孤立対策推進室が置かれるなど、世界的に孤独・孤立が社会課題化していますが、台東区内においてはこのような状況をどのように捉えているのでしょうか。</p> <p>また、何か対策など考えているところがあれば、ご教示いただけると幸いです。 (40代 男性)</p>	<p>近年の社会構造の変化により、家族や地域、会社などにおける人との「つながり」が薄くなり、誰もが孤独・孤立状態に陥りやすい状況になっています。</p> <p>台東区でも、令和7年5月に実施した「台東区民の意識調査」において、4割弱の方が「孤独・孤立を感じることもある」と回答しており、区としても孤独・孤立対策に取り組んでいく必要があると認識しています。</p> <p>そのため、既存の制度の狭間や複合化した福祉課題へ対応するため、地域の関係者とも連携して、寄り添い型の支援を行う「包摂的な支援の推進」に取り組んでいます。</p> <p>この取り組みでは、既存の「介護」「障害」「子供」「困窮」に関連する相談窓口において、孤独・孤立の内容も含めた、世代や属性を問わない相談受付を行います。また支援が必要でありながら、適切な関係機関につながっていない人を発掘するため、孤独・孤立を抱える方などが気軽に利用できる、身近な居場所づくり等を行います。</p> <p>これにより、安心して過ごせる場所で悩みごとや困りごとを相談でき、地域とのつながりも生み出せるよう取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇まちづくりについて

質問	回答	対応
<p>台東区がどのような「まちづくり」のビジョンを持って、区政・活動を行っているのか教えてください。</p> <p>どのような「まち」を作ろうとされているのか、それによってどのような結実を目指されているのか、短期・中期・長期的展望もあれば、併せてお聞かせいただくとありがたいです。</p> <p>(40代 男性)</p>	<p>台東区では、概ね 20 年後の台東区の将来像を描いた「基本構想」を策定しており、その将来像として、「ひと」と「まち」が輝き、そして「世界に輝く」という思いを込め、「世界に輝く ひと まち たいとう」を掲げています。</p> <p>その実現のために、4つの基本目標に沿って 11 の分野に分け、施策の方向や目標を体系化しています。特定の分野に片寄ることなく、横断的な視点を持って取り組んでいくことが必要となります。</p> <p>なお、各分野の施策ごとにその方向と目標、およびその手段を示した長期的指針として「長期総合計画」があり、長期総合計画に掲げる取組みの具体化を図る計画として「行政計画」があります。</p> <p>今後もこれらの施策を着実に実施することで、台東区がさらに飛躍していけるよう取組みを推進してまいります。</p>	<p>—</p>

◇南部エリアのまちづくりについて

質問	回答	対応
<p>区の北部は、再開発などでまちづくりの計画が進んでいます。</p> <p>一方で、南部は子育てに適した広さの家が少なく、また敷地に対して大変高額であるため、第2子をきっかけに、他の区や県への引っ越しをされる方が大変多いです。</p> <p>保育園・幼稚園児が少なくなることにより、園の経営にも影響があるのではないかと懸念しています。</p> <p>このような状況の中、南部エリアで子育て世帯が快適に暮らしていけるよう、どのような施策をお考えなのかお聞かせください。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p>	<p>東京全体で転入超過が続いており、家賃の高騰も続いている中、区が住宅価格を抑制したり、住居費を補助したりすることは難しい状況です。そのため区では、子育て支援施策などを充実させ、子育てに関する不安や悩みを軽減することで、安心して育てることができるまちづくりを目指しています。</p> <p>例えば、小・中学生の保護者の経済的負担を軽減する取組みとして、令和5年1月から学校給食の食材調達の全面支援に取り組みました。また今年度は、区立小・中学校等に通う児童・生徒を対象に、学校の教育活動で使用する補助教材や学用品等にかかる費用を支援しています。さらに来年度は、新たに修学旅行等の宿泊行事にかかる費用を支援するための予算を計上しています。</p> <p>これらの政策により、小・中学校の教育課程を履修するために必要な費用は全て支援していく予定であり、区の教育環境としては大きく充実すると考えています。</p> <p>そのほかにも、子育て世帯の居住環境向上の取組みとして、リフォーム工事を行う対象世帯への助成金を交付しています。</p> <p>そして区では、南部地域の子育て世代が増加している状況を踏まえ、「南部地域におけるまちづくり方針」の中で、子育て支援機能を誘導することにより、子育て世代が安心して暮らせる環境づくりを推進することを掲げています。なお4月からは、台東育英小学校区域において民設こどもクラブ「キッズクラブ柳橋」が新たに開設されます。</p> <p>今後も国や東京都の動向、社会経済状況の変化を踏まえ、引き続き、様々な分野の施策との連携を十分に図りながら、子育て支援施策に取り組んでまいります。</p>	<p style="text-align: center;">—</p>

◇学校でのプール指導について

質問	回答	対応
<p>温暖化の影響で夏の猛暑日が多く続き、学校のプールの回数が少なくなっています。プールサイドの高温や熱中症などで安全面を考え、中止せざるを得ないのもわかりますが、今年度のプールの授業が4回しかなかったところもあります。夏休みのプール講習も今はありません。</p> <p>これでは泳げないのはもちろん、慣れた頃におしまい、翌年また同じ繰り返しです。遊べる海や川が近くにない土地柄、もう少し水に慣れておくのは重要なことです。</p> <p>時期をずらして夏以外の時期に行うか、学校外の温水プールを年間通して使うなど、機会を増やしていただけたらと思います。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p>	<p>体育科の授業は、多岐にわたる領域の内容を行うことになっており、全ての領域の指導がバランス良く行われるよう、水泳学習は8～10時間程度で設定する学校が多くなっています。</p> <p>そして、今年度の水泳授業は、実施時期の見直しや学年間における調整等により、区内各校において指導時間数を確保することができました。</p> <p>また今年度、改修工事によってプールが使用できない学校が、民間施設を活用した水泳学習を実施しました。その中で、「天候に左右されない水泳学習が実施できた」と報告を受けています。一方で、施設への移動時間確保に伴う他教科の授業時間への影響などの課題が懸念されています。</p> <p>学校の水泳学習は、今後さらなる猛暑の影響により、指導時間数の確保が困難になると見込まれます。新たな水泳学習に向けた取り組みについては、民間施設を活用した水泳学習の状況や他自治体の事例等を踏まえ、引き続き、本区の実情に沿った手法を検討してまいります。</p> <p>なお区では、年間を通して利用できる清島温水プールをはじめ、夏期に利用できる台東リバーサイドスポーツセンターや柳北スポーツプラザプール、また今年度は休止していますが、冬期に利用できる都立浅草高等学校温水プールもありますので、ぜひご利用ください。</p>	<p>☆</p>

◇より効果的に子育て支援事業を活用するために

質問	回答	対応
<p>昨年、『子育てアシスト』に電話をしましたが、「日本語を話せる人は対象ではない」と断られ、ホームページに書いてあるほど相談には乗ってくれないという印象を受けました。</p> <p>また、他区と比較して『あったかハンド』などの制度が充実していると感じていますが、「具体的にどのように使うと自分にとって助かるのか」を考えないといけけないので、その部分に支援があると嬉しいと考えています。</p> <p>例えば、今後子供が待機児童になってしまった際も、「具体的にどの制度を使うと仕事を続けられるのか」を一緒に考えてくれる組織があると嬉しいです。自分で制度を調べて利用するよりも、より良い解決策が出てくるのではないかと考えます。</p> <p>また、『あったかハンド』も妊娠中に使い方を一緒に考えてくれる人がいれば、産後すぐに赤ちゃんを面倒見てくれるシッターさんと呼ぶなどしてチケットを使ったほうが、大変な思いをせずに済んだのではないかと考えました。</p> <p>せっかくすばらしい制度があるので、以上のようなことを一緒に考えてくれる組織や人がいると、子育てで孤独感を感じずにより良い解決策が生まれ、子育てしやすい環境になると考えます</p> <p>(30代 女性)</p>	<p>「子育てアシスト」のご利用については、お問い合わせいただいた際の対応が不十分であり、申し訳ございませんでした。</p> <p>「子育てアシスト」では、子育て家庭が個別のニーズに合わせて、保育施設や様々な子育て支援サービスなどから必要な支援を選択し、利用できるよう専任の相談員が一緒に考えています。区役所6階の子育て・若者支援課の窓口にて実施していますので、まずはお電話でお気軽にお問い合わせいただき、今後もお活用いただければと思います。</p> <p>また区では、保健所や子ども家庭支援センターなどでも、育児に関する悩みや不安などの相談を受けており、育児負担の軽減につながる各種サービスの活用についてご相談に応じているところです。</p> <p>加えて、子育てをされている方が、ご自身のスマートフォンやパソコンから必要なサービスを探せるよう、昨年8月より「子育て手続きガイド」を運用しています。調べたい情報をメニューから選択し、「はい」「いいえ」などの簡単な質問を答えることで、必要な手続きや利用できるサービスがわかります。</p> <p>今後も個々のニーズに応じた適切なサービス利用のご案内ができるように努め、保護者の皆様の子育てに関する不安や負担の解消、軽減を図ってまいります。</p>	<p>—</p>

◇区内のお祭りについて

質問	回答	対応
<p>お祭りは年に一度なので、「騒がしくても許されるべき」という人もいますが、「お祭り＝全てが許される」のではなく、きちんとルールを守り、行うべきかと思えます。</p> <p>酉の市も出店のごみの放置や、マンションエリア内に物を置いたりしていることで、住環境の価値が下がっています。もう少しお祭りもルールを定めるべきではないでしょうか。</p> <p>また、反社会勢力のような人もいるため、健全な環境を作ってほしいです。 (40代 男性)</p>	<p>区内では、各地域に根付いた四季折々のお祭りや行事が実施されており、区の魅力の一つとして取り上げられる一方で、マナー違反や迷惑行為に関するご意見が区にも寄せられています。</p> <p>まず出店については、道路上に露店を設置する際には許可が必要になります。また酉の市の露店については、許可の際に周辺の清掃を条件としています。</p> <p>今回のご意見も踏まえまして、ごみの放置等、周辺環境に影響が出るような状況については、区としても改めて指導してまいります。</p> <p>次に、祭礼等からの暴力団排除についてです。「東京都台東区暴力団排除条例」では、暴力団員の祭礼、興行その他の公共の場所における行事への関与、暴力団の威力を示した行為が、区民・事業者に迷惑又は危害を及ぼす恐れがあるときは、警察に区民・事業者の安全の確保に必要な措置を要請することができることを定めています。そのため、区としては今後も管轄警察署と情報を共有し、安全確保に必要な措置を講ずるよう要請してまいります。</p> <p>引き続き、区民等の安全確保のため、関係機関等と連携を図りながら対応してまいります。</p>	<p>—</p>

◇子育て支援事業の充実について

質問	回答	対応
<p>少子化も加速しており、物価高や利上げもあり、今生まれてきている子供や親たちへのサポートの充実は、日本の未来のために重要だと思います。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児保育の設立（共働きが多く保育園の利用が進んでいるが、体調不良時の対応で悩んでいる家族の話聞く） ・幼稚園・小学校後の預かり保育・学童の利用時間の延長と金銭面の補助（送迎の点で利用できないことが多い。区立幼稚園の預かり保育も強化されているが、さらなるサポートを期待。預け場所として区主体で施設を設けて、各幼稚園や学校から送迎バスで移動し、区内在住の方々のサポートで手芸、伝統工芸、勉強や言語などの学ぶ場を作るといったことを希望） ・住宅ローン・賃貸への補助（資産の乏しい若い世代が台東区で住みにくくなっている） <p>などがあります。</p> <p>環境面としては、公園などで休憩のため喫煙されている方が多く、喫煙者および非喫煙者が安心して公園を利用できるように喫煙所を作っていただきたいです。</p> <p>また、車椅子やベビーカーがエレベーターを利用しやすいように、駅周辺の案内を見やすくしていただくと嬉しいです。</p> <p style="text-align: right;">(30代 男性)</p>	<p>まず、病児保育の設立についてです。施設型病児保育に対する需要が一定程度あることは認識していますが、施設や人員の確保等の課題があるため、実施について検討しているところです。なお、現在実施している派遣型病児・病後児利用料助成については、より多くの日数を利用できるよう、補助上限額を4万円から8万円へ引き上げる予算案を現在区議会に提出しています。</p> <p>次に、幼稚園の預かり保育および放課後対策事業についてです。区立幼稚園では、保護者の保育ニーズに対応するため、今年度より全園で預かり保育を実施しています。また、預かり保育料については免除や一部無償化制度があり、国は今年の9月から無償化の上限額を引き上げる予定です。なお、本区では国に先駆け、4月より上限額を引き上げて支援の拡充を図ってまいります。</p> <p>そして、幼児期における様々な体験は非常に貴重なものであると考えており、各園では教育課程において、地域の皆様とのつながりを大切にしながら、特色を活かした活動に取り組んでいます。</p> <p>小学生以上の放課後対策事業については、各小学校で実施している「放課後子供教室」の実施時間を、来年度から新たに5校で延長します。これにより、17校中10校で実施時間を18時まで延長することになります。</p> <p>引き続き、教育環境の充実や保護者の経済的負担軽減に努めてまいります。</p> <p>次に、住宅ローン・賃貸への補助については、区が補助することは難しい状況です。</p> <p>次に、公園での喫煙対策についてです。台東区では、喫煙者と非喫煙者が共に快適に利用できる環境を目指しています。そのため全ての公園において、子供たちが多く集まる場</p>	<p style="text-align: center;">☆</p>

所や遊具まわりを禁煙としており、また一部の公園と児童遊園は全面を禁煙としています。このルールが守られるよう24時間体制で警備員が公園を巡回し、指導およびマナー啓発を行い、緊急時には現地に急行する体制をとっています。

公衆喫煙所の整備については、周辺の整備状況などを総合的に踏まえて検討してまいります。

次に、駅周辺のエレベーターの案内についてです。現在区では、お手持ちのスマートフォンやパソコンでも閲覧できる「バリアフリーマップ」を公開しています。エレベーターやトイレなどのバリアフリー情報に加え、徒歩経路の検索機能や車椅子で走行した道路、段差および勾配を解消したバリアフリー化された道路の情報などを確認することができます。また、授乳室やおむつ交換台など、子育て世帯に役立つ情報もご確認いただけますので、ぜひご活用ください。

最後に、今年4月からの区役所の組織についてです。深刻さを増す少子化や核家族化、個人の価値観の多様化など、子供を取り巻く環境は大きく変化し、様々な課題が複雑化、複合化しています。このような状況に的確に対応するため、令和8年度より、区の新たな組織として「こども家庭部」を設置します。

子供と家庭を支える体制をより一層強化し、「こどもまんなか社会」の実現に向け、引き続き取り組んでまいります。